

第 18 回次世代を担う若手のための 医療薬科学シンポジウム

開催趣意書・募集要項

寄付金・広告掲載・メディカルセミナー

第 18 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム

実行委員長 白坂 善之

金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬物動態学研究室 准教授

ご挨拶

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この度、第18回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウムを、2024年10月3日（木）、4日（金）の2日間、金沢商工会議所（石川県金沢市）にて開催することとなりました。本シンポジウムは、医療薬科学分野の多彩な研究の持続的な発展を目指し、基礎・臨床を問わず医療薬科学分野に関わる多様な若手研究者が一堂に会して研究成果を発表し、互いの意見を交わす場として、その歴史を重ねてきました。また、企画・運営も若手研究者自身が行うことで、分野を自らの手で創り出せる自律的な研究者を育成することも目的としております。本年で第18回を迎える「次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム」の開催にあたりましては、大学、研究機関、医療機関等に所属する幅広い基礎/臨床分野の研究者・医療従事者・学生が集い、最先端の研究発表と異分野交流を存分に行える場を提供できるよう、組織委員一同、鋭意準備を進めております。

本大会のメインテーマは、「若さ×情熱×勘違い：あふれる創造力で医療薬科学の常識を変えろ」としました。医療薬科学研究に携わる研究者は多様な専門性を有しており、その研究フィールドも大学、医療現場、企業と様々です。医療を取り巻く新たな課題が次々と出てくる中、これら研究者が一丸となり、基礎、臨床、そして実践へと、課題克服に向けた取り組みを加速させていくことが重要となります。特に若手研究者においては、様々なフィールドの研究者と交流を持ち、互いの意見を交わすことで、広い視野・新たな視点を形成し、未来の医療を描き、形作っていく責務があると考えます。本シンポジウムにおいて、集う若手研究者が、「ミナギル若さ」、「アフレル情熱」、「ソウダイナ勘違い」を持って、心ゆくまで知的に暴れ、議論を交わし、定説を打ち破り、その爆発的な推進力と創造力で医療薬科学の常識を変えていってくれることを願っております。

本来、このようなシンポジウムの運営は、参加費のみで運営されるべきところですが、若手主導で開催する比較的小規模なシンポジウムであり、参加費のみで開催経費を賄うことは難しく、ある程度の資金繰りが必須となります。つきましては、何卒事情をご賢察いただき、格別の御支援・御厚情を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

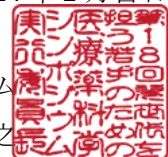
謹白

2024年2月吉日

第18回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム

実行委員長

白坂善之



大会概要

1. 大会名称 第18回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム
2. 会期 2024年10月3日(木)・4日(金) 2日間
3. 会場 金沢商工会議所(金沢市尾山町9-13)
4. 主催 公益社団法人 日本薬学会 医療薬科学部会
5. 実行委員長 白坂善之(金沢大学 医薬保健研究域薬学系 准教授)
6. 実行副委員長 井上大輔(富山大学 学術研究部 薬学・和漢系 助教)
7. 実行委員 池村健治(大阪大学医学部附属病院 薬剤部)
嶋田 努(金沢大学附属病院 薬剤部)
深見達基(金沢大学 医薬保健研究域薬学系)
増尾友佑(金沢大学 医薬保健研究域薬学系)
8. 顧問 玉井郁巳(金沢大学 医薬保健研究域薬学系 教授)
9. 大会事務局 金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬物動態学研究室内
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL: 076-234-4478 FAX: 076-234-6284
E-mail: ycps2024@gmail.com (or: shira@p.kanazawa-u.ac.jp)
10. ホームページ <https://ycps.jp/18/home.html>
11. 参加者数 150-200名(予定)
12. 開催目的 本シンポジウムは基礎・臨床を問わず医療薬科学分野に関わる様々な所属の若手研究者が一堂に会し、研究成果を発表し議論を交わし、参加者相互の交流を行うことにより、次世代の医療薬科学の発展を担う若手研究者の育成および医療薬科学分野の様々な研究の継続的な発展に貢献することを目的としております。本大会では、「若さ×情熱×勘違い: あふれる創造力で医療薬科学の常識を変えろ」をメインテーマとして掲げ、次世代を担う若手医療薬科学研究者が、「ミナギル若さ」、「アフレル情熱」、「ソウダイナ勘違い」を持って、その爆発的な推進力と創造力で医療薬科学の常識を打破するシンポジウムの開催を目指します。
13. プログラム(予定)
 - 1) 主なプログラム

- 特別講演（発表 40 分、質疑 5 分）
- 教育講演（発表 40 分、質疑 5 分）
- 若手シンポジウム（発表 20 分、質疑 5 分）
- 一般演題（口頭）（発表 9 分、質疑 3 分） / （ポスター）（発表・質疑 50 分）
- 表彰式

2) 会議の日程

10月3日（木）	講演会場（ホール）	ポスター会場（研修室）
午前	口頭発表①（12分×5）	ポスター掲示・閲覧
	特別講演①（45分×1）	
昼食	メディカルセミナー	
午後	口頭発表②（12分×5）	
	口頭発表③（12分×5）	
	特別講演②（45分×1）	
		ポスター発表（奇数）（50分）

10月4日（金）	講演会場（ホール）	ポスター会場（研修室）	
午前	口頭発表④（12分×5）	ポスター掲示・閲覧	
	若手シンポジウム（25分×4）		
	特別講演③（45分×1）		
昼食			
	教育講演（45分×1）		ポスター発表（偶数）（50分）
	口頭発表⑤（12分×5）		
	表彰式		

14. 助成を必要とする理由

本シンポジウムは、医療薬科学分野の多彩な研究の持続的な発展を目指し、基礎・臨床を問わず医療薬科学分野に関わる多様な若手研究者が一堂に会して研究成果を発表し、互いの意見を交わすことを大きな目的として掲げており、大学、医療現場、企業における若手研究者はもとより、より多くのポスドクや学生にも参加してほしいと考えております。したがって、学生の参加費には十分配慮して設定しております。また、企画・運営も若手研究者自身が行うことで、分野を自らの手で創り出せる自律的な研究者を育成することも目的としております。しかしながら、本来、このようなシンポジウムの運営は、参加費のみで運営されるべきところですが、若手主導で開催する比較的小規模なシンポジウムであり、参加費のみで開催経費を賄うことは難しく、ある程度の資金繰りが必須となります。つきましては、何卒事情をご賢察いただき、格別の御支援・御厚情を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

15. 予算案（収支別）

(1) 収入の部

(単位：円)

費目	金額	概要
運営補助	500,000	日本薬学会
参加登録料－会員	210,000	3,000 円×70 名
参加登録料－学生会員	20,000	1,000 円×20 名
参加登録料－非会員	150,000	一般: 5,000 円×10 名 学生: 2,000 円×50 名
広告掲載料	570,000	要旨広告掲載料 8 万円×3 社、5 万円×3 社、3 万円×6 社
寄付金	300,000	5 万円×6 社
収入合計	1,750,000	

(2) 支出の部

(単位：円)

費目	金額	概要
会場費	400,000	
印刷製本費	570,000	
修繕維持費－保守・維持	300,000	ホームページサーバー委託管理料
消耗品費	57,000	事務用品など
通信運搬費	30,000	郵便代など
アルバイト料	44,000	
謝礼金－講演謝礼金	80,000	20,000 円×4 名
謝礼金－その他	9,000	謝礼金に対する源泉税
業務委託費	200,000	会議運営、参加登録システムなど
その他（雑費）	60,000	表彰、支払手数料など
支出合計	1,750,000	

寄付金募集要項

1. 概要：寄付金のお願い：

本会では、150-200名の参加を見込んでいます。本会議開催の準備・運営に関わる諸経費は、本来、本会参加者の参加登録費などの経費でまかなうべきものではございますが、本会にて負担できる金額には限りがございます。従いまして、必要経費の相当額は、ご援助に頼らざるを得ないのが実情でございます。諸経費ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、本会を成功裡に終えるため是非のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 寄付金の名称：

第18回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウムのための寄付金

3. 寄付金の用途：

第18回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウムの準備・運営及び関連諸行事の費用に充当

4. 寄附金目標額：

300,000円（1口 50,000円）[他の金額を希望の場合は相談可]

5. 寄付金の申込方法：

別紙の申込書に所定の事項を記載のうえ、事務局までE-mail添付で申込みください。

6. 寄付金の振り込み方法：

別紙「寄付金申込書」をご提出頂いたのち、同申込書下部に記載の銀行口座（三菱UFJ銀行）にお振込みください（振込手数料は貴社にてご負担願います）。

7. 寄付金の申込み期限：

2024年9月30日（月）

8. 実行委員長：

白坂善之（金沢大学 医薬保健研究域薬学系 准教授）

9. 事務局：

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬物動態学研究室内 白坂善之

TEL: 076-234-4478 FAX: 076-234-6284

E-mail: ycps2024@gmail.com (or: shira@p.kanazawa-u.ac.jp)

本シンポジウム自体の開催が中止になるなど、重大なプログラム変更がない限りにおいては、入金後の返金は一切行わないことをご承知おきください。

広告募集要項

シンポジウム参加者に配布するプログラム抄録集への広告掲載、バナー広告および幕間広告

- 抄録集誌名、バナー広告、幕間広告掲載場所
第 18 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム抄録集
第 18 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム HP のトップページ
第 18 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム 会期中のセッション間
に会場内で投影
- 配布・閲覧対象
第 18 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム 参加者、協賛団体 他
- 抄録集予定発行部数
200 部程度（参加登録者への配布他）、抄録集データの配布
- 抄録集制作費
570,000 円（税込）
- 抄録集掲載要領
 - サイズ：A4 縦
 - 広告料金

掲載箇所	印刷色	金額（税込）	募集枠数	合計金額
表 2・3・4（裏表紙）	モノクロ	80,000 円	3	240,000 円
後付 1 頁	モノクロ	50,000 円	3	150,000 円
後付 1/2 頁	モノクロ	30,000 円	6	180,000 円
合 計			12	570,000 円

*表 2・3・4 のお申し込みは、先着順とさせていただきます。

- バナー広告掲載要領
 - 掲載サイズ：横 220 ピクセル、縦 120 ピクセル程度
 - 掲載期間：受付完了後～シンポジウム終了後 1 年間継続掲載
 - 広告料金：抄録集広告料金に含まれます
- 幕間広告掲載要領
 - 入稿データ：パワーポイント（アスペクト比 16:9）
 - 掲載期間：会期中セッション間に投影 1 枠 20 秒程度

(3) 広告料金：抄録集広告料金に含まれます

8. 広告の申込方法：

別紙の申込書に所定の事項を記載のうえ、事務局まで E-mail 添付で申込みください。

9. 広告料の振り込み方法：

別紙「寄付金申込書」をご提出頂いたのち、同申込書下部に記載の銀行口座（三菱 UFJ 銀行）にお振込みください（振込手数料は貴社にてご負担願います）。

10. 広告の申込み期限：

2024 年 8 月 23 日（金）

11. 実行委員長：

白坂善之（金沢大学 医薬保健研究域薬学系 准教授）

12. 事務局：

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬物動態学研究室内 白坂善之

TEL: 076-234-4478 FAX: 076-234-6284

E-mail: ycps2024@gmail.com (or: shira@p.kanazawa-u.ac.jp)

本シンポジウム自体の開催が中止になるなど、重大なプログラム変更がない限りにおいては、入金後の返金は一切行わないことをご承知おきください。

メディカル（ランチョン）セミナー募集要項

1. メディカル（ランチョン）セミナーの日時
1 枠目：2024年10月3日（木）12:00～13:00
2 枠目：2024年10月4日（金）12:00～13:00
尚、ランチョンセミナーの申込みは、希望に応じて、HP上でのバナー掲載も含まれます
2. 情報の閲覧対象：本会参加者および広告掲載企業
3. ランチョンセミナーの実施料：
要相談
4. ランチョンセミナーの申込方法
別紙の申込書に所定の事項を記載のうえ、事務局まで E-mail 添付で申込みください。
5. ランチョンセミナーの振り込み方法
三菱 UFJ 銀行への振り込み（振り込み先の詳細は、申込書を送付後にご連絡します）
振込手数料は貴社にてご負担願います。
6. ランチョンセミナーの申込み期限
2024年8月23日（金）
*枠が埋まり次第締切といたします。
7. 事務局
〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学 医薬保健研究域薬学系 薬物動態学研究室内 白坂善之
TEL: 076-234-4478 FAX: 076-234-6284
E-mail: ycps2024@gmail.com (or: shira@p.kanazawa-u.ac.jp)

本シンポジウム自体の開催が中止になるなど、重大なプログラム変更がない限りにおいては、入金後の返金は一切行わないことをご承知おきください。